

指定管理者による公の施設の管理運営状況

令和元（2019）年度

施設名	栃木県中央公園
施設所管課	県土整備部都市整備課
指定管理者	栃木県中央公園指定管理グループ ・ 栃木県造園建設業協同組合（法人番号 80600050000511） ・ 株式会社大高商事（法人番号 1060001000967）
指定期間	平成 31（2019）年 4 月 1 日～令和 11（2029）年 3 月 31 日

1 施設の概要

施設所在地	宇都宮市睦町 2-50
施設の概要	① 指定管理者による管理面積 9.5ha（栃木県立博物館を除く。） ② 主要な施設 正面入口広場、中央広場、記念広場、面影広場、芝生広場、こども広場、日本庭園、野点広場、沈床園、昭和大池、むつび池、面影池、ロックガーデン、旧宇都宮商工会議所ポーチ、緑の相談所、県立博物館 等
業務内容	① 公園の維持管理に関する業務 ② 公園の運営に関する業務

2 収支の状況

令和元（2019）年度

（千円）

収入			支出		
指定管理 ※2	指定管理料	63,800	指定管理 ※2	事業費	14,844
	利用料金収入	0		管理運営費	30,403
	その他収入※1	1		人件費	25,311
	合計	63,801		その他支出※1	3
			合計	70,561	
指定管理業務収支差額①			▲6,760		
自主事業			3,051		
自主事業収支差額②			2,670		
収支差額（①+②）			▲4,090		
備考（※1 その他収入の主なものを記載） ・ 利息 1千円			備考（※1 その他支出の主なものを記載） ・ 租税公課費 3千円		

※2 指定管理業務に係わるもののみ計上する。

平成 30（2018）年度（前年度）

（千円）

収入			支出		
指定管理 ※2	指定管理料	62,742	指定管理 ※2	事業費	7,391
	利用料金収入	0		管理運営費	30,288
	その他収入※1	1		人件費	24,779
	合計	62,743		その他支出※1	0
			合計	62,458	
指定管理業務収支差額①			285		
自主事業			3,279		
自主事業収支差額②			3,007		
収支差額（①+②）			3,292		
備考（※1 その他収入の主なものを記載） ・ 預金利息 1千円			備考（※1 その他支出の主なものを記載）		

※2 指定管理業務に係わるもののみ計上する。

### 3 利用状況

	平成 30 (2018) 年度 (前年度)	令和元 (2019) 年度
公園利用者	320,078人	313,017人

施設名		平成 30 (2018) 年度 (前年度)	令和元 (2019) 年度
緑の相談所	相談件数	518件	437件
	催し物回数 (延べ人数)	41回 (49,232人)	42回 (46,674人)
	講習会回数 (延べ人数)	34回 (518人)	32回 (493人)
グリーンカレッジ講習会回数 (延べ人数)		12回 (503人)	11回 (487人)

### 4 サービス向上に向けた取組

<p>(1) 年末年始 (12月29日～1月3日) の開園</p> <p>(2) 公園管理事務所の開所日の年中無休化</p> <p>(3) 緑の相談所を1月2日から開所した。</p> <p>(4) わかりやすく目線に止まる掲示物の掲示</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 樹木・草花の案内や質問のあるものについては、相談所窓口に園内案内や解説を掲示したほか、既存の樹木名板の適切な位置への移動や、草花の名称プレートを設置した。</li> <li>・ 窓口に園内マップを掲示し、施設案内や草花名称、開花状況、見所等の情報提供を行った。</li> <li>・ ウォーキングルート・距離を示した園内マップを園路沿いの案内板に掲示した。</li> <li>・ 車いすの貸し出しや、緑の相談所入口に車いすで通れる園路を表示した園内マップの掲示を行った。</li> </ul> <p>(5) 安全性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期的なパトロールを実施するとともに、不審な情報等が入った場合には、職員を増やし警戒に当たることにより、犯罪等を未然に防止するよう努めた。特に東日本大震災後は、夜間照明の共用停止のため夜間巡視業務を強化している。</li> <li>・ 施設点検マニュアルを作成し、始業・終業の安全点検及び定期点検を徹底した。</li> <li>・ 避難誘導マニュアルを作成し、防災訓練を実施するなど、公園利用者への迅速な対応に備えた。</li> <li>・ 園内及び境界沿いの危険個所の早期発見と処置 (修復) を迅速に行い、安全確保に努めた。</li> <li>・ AEDを常設している。</li> </ul> <p>(6) 快適性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「魅せる公園」を意識し、修景の観点を考慮した上で、株高になった低木や繁茂した草本類の大きさや立体的バランス・見通しに注意し、強剪定・刈込、密度調整等を実施した。</li> <li>・ 芝生広場や管理棟 (緑の相談所) 南側広場の芝生張替えを行った。</li> <li>・ 転倒防止のため、管理棟前の広場や中央広場の御影石を洗浄し、転倒注意の表示板を置いた。</li> <li>・ 分煙を徹底し、パトロールを徹底した。</li> <li>・ シルバー人材センターの得意部門を利用して、「公園の顔」といわれるトイレの清掃を徹底して実施するとともに、トイレサービスチェックリストを拡充した。</li> <li>・ 家庭ごみ搬入防止のため、徹底したごみ収集を行った。</li> <li>・ 沈床池の整備・清掃を重点的に行った。</li> <li>・ 昭和大池の水質汚濁と悪臭の防止を行い、水質改善を行った。</li> <li>・ 危険性をはらんだ樹木 (衰退木、損傷木、競合木等) の確認及び撤去処理を行い、安全な環境を提供した。</li> </ul> <p>(7) 広報宣伝活動の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベントカレンダー等のリーフレットや新聞による情報提供を行った。</li> <li>・ 定期的なウェブページの更新とともに最新情報を随時掲載した。</li> <li>・ 利便性を向上させるため、従来のウェブサイトのリニューアルした。</li> <li>・ 中央公園オリジナルのカレンダーを作成し、県関連施設や近隣施設へ配布した。</li> <li>・ ウェブサイトにおいて、緑の相談の受付を開始した。</li> </ul>
---

5 利用者意見への対応

利用者意見の把握方法				
<ul style="list-style-type: none"> <li>管理事務所に意見箱を常時設置し、ご意見票を回収 回収件数 54件</li> </ul>				
主なご意見票の項目	良い	良い方	あまり良くない	悪い
公園内はきれいでしたか	51.9%	44.3%	3.8%	0.0%
公園の管理状況はいかがでしたか	43.5%	56.5%	0.0%	0.0%
花壇や樹木などの植物の管理状態はいかがでしたか	36.8%	63.2%	0.0%	0.0%
スタッフの対応はいかがでしたか	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
主な利用者意見（苦情・要望）		対応		
<ul style="list-style-type: none"> <li>園内の「花の見頃情報」を、声をかけにくいのでコピーして置いておいてほしい。</li> <li>トイレが使えない場所があった。</li> <li>公園管理もいいが、清掃のエンジン音がうるさい。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>相談窓口を設置済。</li> <li>後日修理し使用できるようにした。</li> <li>落葉のピークの時期にブロアーを使用しないのは難しいが、作業員へ使用時のエンジンのふかし具合等について注意を呼びかけた。</li> </ul>		
主な利用者意見（積極的評価）				
<ul style="list-style-type: none"> <li>素晴らしい公園で宇都宮の誇り。家の近くにあったら毎日散歩したい。</li> <li>自然も豊かでいろんな展示物や遊具があった。</li> <li>いつも家の庭の手入れの参考になっている。</li> </ul>				

6 指定管理者による自己評価

<p>成果のあった取組・積極的に取り組んだ事項・利用者満足度向上への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>専門的な造園技術により、景観上バランスの取れた剪定・刈込を実施するとともに、樹木医など専門家の意見や診断により減退樹木の適切な治療処置を行った。</li> <li>園内の落ち葉を集積・腐葉土化した後、堆肥やマルチング材として園内植物に施用し、自然資源の循環を行った。</li> <li>夏の「ミストゾーン」、冬の「雪吊り」「イルミネーション」、自然素材を使用した「しめ縄飾り」等特色ある環境イベントを企画・実施した。</li> <li>公園の利用促進を図るため、県立博物館と連携してナスヒオウギアヤメ鑑賞会やセミの羽化観察会、野鳥観察会を実施した。</li> <li>栃木県で開催された大型観光キャンペーン(アフターDC期間4月～6月)に協力し、園内の桜ライトアップや魅せる噴水の時間延長を実施した。</li> </ul>
<p>良好な園内環境に向けた取組 ※指定管理者が独自に設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>良好な園内環境の維持管理 芝生地、植栽樹木の育成管理、花壇管理等花修景、トイレ清掃</li> <li>環境問題への取組 省エネ、省資源、ゴミ問題への取組</li> </ul>
<p>今後改善・工夫したい事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「魅せる公園」を意識し、造園の専門的技術を駆使した景観維持の植栽管理を実施していきたい。</li> <li>ホームページの、季節の花や実などを紹介した園内植物の掲載内容を充実していきたい。</li> <li>広報宣伝について、SNS等を活用した情報発信を行っていきたい。</li> <li>高齢者や障害者の利用が増加傾向にあることから、車いすの利用やリハビリ目的の利用にも細心の注意を払い、思いやりのある対応をしていきたい。</li> <li>暦の行事（雛祭り、端午の節句の鯉のぼり飾り、七夕飾り等）や自然素材を用いた木の実の工作等、家族で楽しめるようにイベントを充実させたい。</li> </ul>

7 所管課室による評価

項目	評価の内容	確認内容・所見等	評価
1. 住民の平等利用の確保	①住民の平等利用が確保されたか	適切に実施されている。	C
	②使用許可に関する権限が適正に行使されたか	—	—
	③高齢者、障害者等に対する配慮はなされたか	車椅子の貸し出し、車椅子のコースマップによるハザード情報の掲示、おもいやり駐車スペースの確保や補助犬の同伴受入表示など配慮がなされている。	C
2. 施設の効用の最大限発揮	①施設の設置目的に沿った業務実施がなされたか	事業計画書に沿って業務実施されており、その結果も適切に記録されている。	C
	②施設の利用促進、県民サービスの向上が図られたか	公園利用者数は台風や新型コロナウイルスの影響により目標を達成しなかったが、植栽刈り込み等により快適な公園内散策環境の提供に努めた。また、インターンシップ（高校生）の受入と就業体験支援を実施し教育的活動の場と機会の提供を行った。	C
	③利用者満足度を把握し、満足度の向上が図られたか	利用者の満足度は昨年並みだった。	C
	④利用者からの意見、苦情に対して適切な対応がなされたか	苦情が少ない。また要望・苦情があった場合は適切かつ迅速に取り組み対応している。	C
	⑤施設、設備、備品の維持管理や安全管理は適切になされたか	計画どおり日常・定期点検を実施し、その記録が保管されている。また、施設修繕とその記録状況も良好である。さらに、取扱説明書を含め備品の管理が適切に実施されている。	C
	⑥指定管理者の創意工夫により業務改善等がなされたか	立入禁止措置及び注意看板を現地に設置するとともに、注意喚起を表示したハザードマップを園内掲示板等に掲示し、公園利用者に周知した。	C
3. 管理を安定的に行う物的人的基礎	①組織体制は適正か	当該業務をおおむね適正に遂行できる組織となっている。	C
	②収支は適正でバランスがとれたものか	おおむね適正である。	C
	③経費の縮減に取り組まれてきたか	冷暖房の設定温度、噴水稼働時間、外灯の照明時間などの調節を適切に行い、節電・節水等に努めた。	C
	④人材育成は適切に実施されているか	公園管理に必要な資格の習得や技術と能力を向上するため、事業計画書に基づいた研修を実施した。	C
	⑤危機管理体制（事故、緊急時の対応）は確保されているか	緊急時連絡体制が確立されており、さらにクレーム・危機管理・事故対応マニュアルや、危機管理対応フロー等が整理されている。	C

	⑥県や関係機関との連携体制は確保されているか	県や関係機関と連携し、管理運営を行っている。	C
4. 個人情報保護	①個人情報の保護についての措置が計画どおり実施されているか	個人情報の保護に関する要領を定め、適切に保護をしている。	C
	②情報公開は適切になされているか	情報公開事務処理要領を定め、適切に運用をしている。	C
5. その他	①施設の特性にふさわしい自己評価がなされているか	チェックシートにより現場状況を観察のうえ、自己チェックを担当責任者が中心となった複数名のチームで実施し協議のうえ採点をしている。	C
	②自主事業が計画どおりに実施されているか	自主事業について、適切に実施された。	C
	③イベント等を実施している場合は、地域との連携が図られているか	催し物は地域住民や団体、講座は県内在住の講師と連携し実施している。	C
	④環境への配慮（騒音・公害対策、ごみ削減等）がなされているか	公園利用者にはゴミの持ち帰りをお願いしたり、公園内の落ち葉は堆肥リサイクルを行い有効活用している。	C
	⑤その他管理運営上の特記事項（コロナ対策がなされているか等）	イベント・観察会の開催や、グリーンカレッジを積極的に行い、地域との連携推進に取り組んでいる。また「愛パークとちぎ」の新規受付の周知や、活動団体のサポートを実施している。新型コロナウイルスについては、来園者に対するマスク着用や手洗い・消毒の呼びかけを行い、三密防止や消毒の徹底に励んだ。	B
総合的な評価			
<p>全般的におおむね良好な管理運営状況である。管理状況については、投函された意見票ではほとんどが積極的意見となっているなど、極めて優れた管理を継続して行っていると考えられる。</p> <p>また、ホームページのリニューアルを行い、ウェブ上で緑の相談受付も始めるなど、利便性も向上させた。アフターDCの一環として引き続きサクラのライトアップや、環境を活かした四季折々の演出に積極的に取り組んでいる。</p> <p>今後とも優れた専門性を生かし、より高い水準の景観と公園の魅力を維持し、ますます県民に親しまれる公園となってほしい。</p>			

※「評価」欄には、以下の指標により判定した結果を記載すること。

- A：事業計画に対して極めて優れた取組となっている。
- B：事業計画に対して優れた取組となっている。
- C：事業計画どおりの取組となっている。
- D：事業計画に対して劣る取組となっている。
- E：事業計画に対して極めて劣る取組となっている。